

対キューバ共和国事業展開計画

2024年 4月 現在

基本方針 (大目標)	経済改革に対する側面支援
---------------	--------------

重点分野1 (中目標)	新しい経済主体に関する協力
----------------	---------------

開発課題1-1 (小目標) 経済改革	【現状と課題】 2008年以降、キューバでは段階的な市場原理を導入し、経済改革を推進している。これまでの社会主義的中央計画システムを継続し、国営企業を中心とした体制を基本としつつ、非国営企業の補完的な役割を促進する意向が示されており、国内生産の強化、外国投資の有効活用が課題となっている。		【開発課題への対応方針】 これまで貿易・投資にかかる協力を通じて、キューバの同分野における現状と課題を把握してきた。今後はキューバ政府が掲げる「2030年国家経済社会開発計画骨子案」および市場経済化等の経済改革にかかる動向を明らかにし、戦略的セクターとして掲げる分野の課題解決と強化に係る産業人材の育成を実施する。また産業人材の育成だけでなく、同計画を監理する行政官の育成も含めた人材育成も視野に入れた協力を展開する。									
	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
				2023 年度以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度			
	経済改革 プログラム	中小零細企業振興アドバイザー	個別専門家	■	■							8, 9
	社会経済改革に向けた人材育成	国別研修	■	■							8, 9	

重点分野2 (中目標)	人への投資
----------------	-------

開発課題2-1 (小目標) 農業開発	【現状と課題】 現在のキューバの食料自給率は、全体で約30%、穀物で50%程度といわれており、農業開発を通じた生産力の向上や生産の多様化は重要課題の一つである。また、就労人口の約21%が第一次産業に従事しているにも関わらず、キューバのGDPに占める農林水産業の割合は約5%であり、生産性の向上による増産等が望まれている。		【開発課題への対応方針】 これまでの我が国の協力により、キューバ国民の主食である米の増産のための優良種子の生産体制を強化してきたことから、次なるステップとして、個別農家への穀物の栽培技術の普及に資する支援を行い、農業生産性を高め食料自給率向上に貢献する。また、草の根・人間の安全保障無償資金協力等を通じて、食糧増産・流通のための各種支援を行う。									
	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
				2023 年度以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度			
	食糧増産 プログラム	農産物バリューチェーン改善のための地域アグロインダストリー能力強化アドバイザー	個別専門家	■	■	■						1, 2
	食料安全保障のための農学ネットワーク(Agri-Net)	課題別研修他	■	■	■	■	■	■	■		1, 2	
	食糧増産分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■	■	■					0.43	1, 2	

開発課題 2-2 (小目標) 社会経済基盤の 整備	【現状と課題】 輸入した石油を主要な燃料源とするキューバは、燃料価格の変動の影響を受けやすく、また、質の悪い石油を使うことで大気汚染が進んでいる。こうした状況を受け、エネルギー源の多角化に向けた再生可能エネルギー分野の開発等も喫緊の課題となっている。さらには、老朽化あるいは未整備等多くの課題を抱える運輸交通インフラ改善もキューバ政府にとって重要な開発課題となっており、日本の技術、経験の活用が期待されている。		【開発課題への対応方針】 マスタープランの策定を通じ、開発課題の解決に向けた方策を明らかにするとともに、日本の技術的な優位性を活かした協力を実施する。									
	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
				2023 年度以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度			
エネルギー プログラム		青年の島における電力供給改善計画	無償	■	■	■	■			23.92	7,9,11,13	
		再生可能エネルギー導入促進	個別専門家		■	■	■				7,9,11,13	
		再生可能エネルギー導入促進および電力系統制御のための人材育成	国別研修		■	■	■				7,9,11,13	
運輸交通 プログラム		全国運輸マスタープラン策定プロジェクト	開発計画	■	■					4.75	9, 11	
		物流マネジメント能力強化プロジェクト	技プロ	■	■	■					11,13	
		道路・橋梁維持管理	国別研修	■	■						9, 11	
		道路アセットマネジメント技術の中核人材育成(2024~2026年度)	課題別研修他		■	■	■				11,13	
		運輸交通分野の課題別研修	課題別研修他	■	■						11,13	

開発課題 2-3 (小目標) 保健医療	【現状と課題】		【開発課題への対応方針】										
	キューバでは、平均寿命の延伸により疾病構造が変化し、非感染性疾患に対する保健医療体制の改善・強化が喫緊の課題となっている。そのため、がんの早期発見等のための適切な画像診断能力の強化や、ICTを活用した効果的な医療サービスの提供と効率的な病院運営を目指し、医療現場では画像診断部門を筆頭に近年デジタル化に取り掛かりつつある。しかしながら、長きにわたる米国の経済制裁の影響等による外貨及び物資不足で、医療機材の更新が適切になされおらず、さらには院内の情報通信機材やネットワークの古い弱性、医療情報の不十分な管理体制などの課題がある。		これまでの協力で、我が国の技術優位性を活かすことができる医療機材等の支援に加え、同機材を活用した非感染性疾患対策に資する支援や同機材等の維持管理能力向上に資する支援を行ってきた。これらの成果さらに発現させるために、病院レベルでの情報通信機材・ネットワークの運用改善、デジタル医療データの管理・活用能力向上を支援し、医療画像システムを含めた病院管理システム全体の統合的な運用の実現に貢献することを目指すとともに、医療サービス全体の質の向上および組織的対応能力の強化を目指す。										
	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
				2023 年度以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度				
保健医療 プログラム		画像診断における病院のデジタル化促進プロジェクト	技プロ							2.52	1,3		
		新型コロナウイルス感染症危機保健医療能力強化計画	無償							3.26	1,3	UNICEF連携無償ラスト/ワンマイル	
		保健医療分野の課題別研修	課題別研修								1,3		
		保健医療分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.11	1,3		
開発課題 2-4 (小目標) 環境	【現状と課題】		【開発課題への対応方針】										
	島嶼国であるキューバにとっては廃棄物対策と限られた資源の有効利用は大きな課題である。しかしながら廃棄物や廃水等による環境汚染が深刻な環境問題となっており、廃棄物の適切な処理や循環型社会の促進は、同国の持続可能な開発のための重要課題である。また、近年の気候変動の影響は一層深刻になっており、水資源管理などの気候変動対策も喫緊の課題となっている。		これまでの協力の成果をベースとして、リサイクル促進を含む循環型社会の実現に向けた支援や水資源の統合管理能力強化への支援を通じ、都市環境汚染や気候変動対策に貢献する。										
	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
					2023 年度以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度			
	環境 プログラム		統合水資源管理のための能力強化プロジェクト	技プロ							6.02	1,3,6	
		廃棄物処理分野のJICA海外協力隊	JOCV								1,3		
		自動車整備分野のJICA海外協力隊	JOCV								1,3		
		環境管理分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.58	1,3,6		
その他個別案件	【現状と課題】		【開発課題への対応方針】										
	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
					2023 年度以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度			
		SDGsグローバルリーダー	課題別研修他								1~17		
		日本語教育分野のJICA海外協力隊	JOCV								4		
		観光分野のJICA海外協力隊	JOCV								4,8,11,12		

【凡例】 「協準」(＝全ての協力準備調査)、「詳細設計」(＝詳細設計)、「基礎情報調査」(＝基礎情報収集・確認調査)、「技プロ」(＝技術協力プロジェクト)、「開発計画」(＝開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(＝個別機材)、「個別研修」(＝課題別研修及び青年研修、長期研修)、「JOCV」(＝JICA海外協力隊)、「第三国専門家」(＝第三国研修)、「現地国内研修」(＝科学技術)、「科学技術」(＝科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型、SATREPS))、「草の根技協」(＝草の根技術協力)、「〇〇省技協」(＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「SDGs調査」(＝途上国の課題解決型ビジネス(SDGsビジネス)調査)、「無償」(＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「食糧援助」(＝食糧援助)、「一般文化」(＝一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(＝草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(＝緊急無償資金協力)、「日本NGO」(＝日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(＝草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(＝円借款、海外投融資)、「マルチ」(＝国際機関等を通じた多国間協力をスキーム)、「基礎調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「ニーズ確認調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「ニーズ確認調査」)、「ビジネス化実証事業」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「ビジネス化実証事業」)、「実線「――」」(＝実施期間)、「破線「- - -」」(＝実施予定期間) ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】 [https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs\\_pamphlet.pdf](https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf)